

## 公開講座

開学30周年へのカウントダウン  
～研究・教育・実践の現在地～

第1講座

9月7日(木) アスリートの動作分析とスポーツ現場への活用法  
藤井 宏明 准教授(健康スポーツ科学科)

第2講座

9月14日(木) 会計のしくみとヒストリー ～会社を数字で管理する～  
宗像 智仁 講師(経営学科)

第3講座

9月21日(木) 「発達障害」「気になる子ども」への支援と配慮  
～ダイバーシティ、インクルージョン、やさしい心でつながる持続可能な社会へ～  
矢野川 祥典 准教授(こども学科)

第4講座

9月28日(木) 今から始めるアンガーマネジメント  
～イライラ、怒りをしずめる上手な付き合い方について～  
松本 陽子 講師(看護学科)

第5講座

10月5日(木) 健幸に長生きするための、あたま・からだ・なかまづくり  
大塚 和美 助教(福祉学科)

## 2023年9月7日(木)～10月5日(木)

福山平成大学7号館大講義室 午後6時30分～午後8時00分

申込期間：2023年8月16日(水)～9月1日(金)

申込方法：受講申込ハガキに所要事項を記入の上、郵送又は持参

受講料：無料

定員：250人

5講座中、4講座以上の受講者に**受講証書**を授与



問い合わせ：福山平成大学 庶務課  
〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

電話：084-972-5001

主催：福山平成大学 後援：福山市  
福山市教育委員会

# 開学 30 周年へのカウントダウン～研究・教育・実践の現在地～

福山平成大学は、令和 6 年に開学 30 周年を迎えます。地域の支えをもとに、これまで多くの研究成果と卒業生を生み出すことができました。今回の公開講座では、開学 30 周年にむけて、最新の研究・教育・実践をお伝えします。

## 第 1 回 9 月 7 日「アスリートの動作分析とスポーツ現場への活用法」

藤井 宏明 准教授（健康スポーツ科学科）

近年では、測定機器や解析方法の目覚ましい開発・進歩に伴い、スポーツ現場においてスポーツ科学の活用が進んでいます。その 1 つとしてアスリートの動作分析が挙げられます。動作分析を行うことで、アスリートの特徴を明らかにすることで、パフォーマンスを向上させるための技術の改善やトレーニング計画の立案に活かすことができます。本講座では講師が今まで行ってきた陸上競技を中心とした動作分析の方法や現場でのその活用方法の紹介を行うことで、スポーツ科学の価値や存在について伝えていきたいと思えます。

## 第 2 回 9 月 14 日「会計のしくみとヒストリー～会社を数字で管理する～」

宗像 智仁 講師（経営学科）

会計はビジネスの言語と呼ばれるほどに、ビジネス社会ではコミュニケーションのツールとして機能しています。会計と聞くと、ニュースで取り上げられるような会社の売上や利益の計算という側面が目立ちがちです。しかし、会計にはそういった利益計算のプロセスを通して、従業員や会社を管理するという側面も持ち合わせており、会社を運営するうえで重要な役割を担っています。この講座では、会社の中でさまざまな役割を果たしている会計のしくみと、その発展の歴史をご紹介します。

## 第 3 回 9 月 21 日「「発達障害」「気になる子ども」への支援と配慮

～ダイバーシティ、インクルージョン、やさしい心でつながる持続可能な社会へ～

矢野川 祥典 准教授（こども学科）

2022 年 12 月、文部科学省による 10 年ぶりの大規模調査で、通常学級に在籍する小中学生の 8.8%に、学習面や行動面で著しい困難を示す「発達障害」の可能性があると驚きの結果が公表されました。これらの子どもたちはクラスに馴染めずストレスを抱えていたり、劣等感に苦しんだり、からかわれたりいじめをうけたりと、学校生活や家庭生活に支障をきたすことも少なくありません。「引きこもり」や「不登校」の子どもの中にも、このような子どもが一定数含まれているものと思われまます。さらに、うつ症状など二次障害を招いてしまう恐れもあります。教育現場で「気になる子ども」の存在が明らかになってきたことにとともに、社会的な関心も高まってきていることから、その支援と配慮について考えまます。

## 第 4 回 9 月 28 日「今から始めるアンガーマネジメント

～イライラ、怒りをしずめる上手な付き合い方について～

松本 陽子 講師（看護学科）

アンガーマネジメントという言葉をご存じですか？アンガーマネジメントとは、怒りの感情で後悔しないための心理トレーニングです。怒りは、感情の中でも最も取り扱いが難しいといわれており、大切な人間関係を壊し後悔してしまうこともあります。そんな取り扱いの難しい怒り、カリカリ、イライラと上手くつきあっていくための方法をご紹介します。

## 第 5 回 10 月 5 日「健幸に長生きするための、あたま・からだ・なかまづくり」

大塚 和美 助教（福祉学科）

厚生労働省が発表した令和 3 年簡易生命表によると、平均寿命は男性が 81.47 年、女性が 87.57 年です。世界一の長寿国である日本においては、「人生 100 年時代」を見据えた取り組みが重要になっています。単に長く生きるだけの人生ではなく、生きる質が問われ、「健やかに生きる」「幸せに生きる」ことを求める人が多いように思われます。本講座では、「身体」と「頭」を同時に使って、「仲間」と楽しみながらできる活動を紹介しまます。この活動はフレイル（虚弱状態）予防の効果が期待できます。当日は参加者の皆さんと一緒に楽しみながら、活動をやってみようと思えます。